

フレッシュ研修報告

～新任教師としての1年～

岩川 雄大（家政科）

1 はじめに

私は、平成 31 年度鹿児島県教職員採用試験に合格し、この鹿児島県立奄美高等学校に勤務することになった。通算 6 回教員採用試験を受験し、やっとの思いで合格することができた。鹿児島で生まれ、鹿児島で育ち、教職の免許を取るために一度鹿児島を離れたが、やはり鹿児島で教職を目指したいと考え戻ってきた。県外に出た経験や教職以外の仕事をした経験を含め、今の自分が持っているもの全てを使って、二度とない一瞬一瞬を、奄美高校の生徒たちとともに、大切にしたいと思っている。

右も左も分からないまま、嵐のように過ぎていった新任教師としての 1 年を通して、生徒とともに過ごしてきた日々を振り返り、次年度以降へ繋げていきたいと考える。

2 教職員としての誓い

私は、鹿児島県の教職員となるにあたり、次の 3 つのことを誓った。

- (1) 授業で勝負できる教師になる
- (2) 生徒と共に成長できる教師になる
- (3) 全ての人から信頼・応援される教師になる

3 職務を通しての現状

(1) 校務分掌

2 年 5 組 家政科 副担任

生徒指導部 交通係

サッカー部 副顧問

(2) 担当授業

授業	時数	対象
家庭総合	1	情報処理科 2 年
家庭総合	2	家政科 1 年
ファッション造形基礎	2	家政科 1 年
ファッション造形基礎	4	家政科 2 年
発達と保育	2	家政科 2 年

4 家庭科技術検定の指導

(1) 被服製作技術検定

家政科の 1 年生全員が受検する 4 級・3 級の指導を主として担当した。4 級では手縫いやミシン縫いを含めた基礎縫いを行い、3 級では衣服製作の基礎として、ハーフパンツを製作した。特に 4 級の基礎縫いの指導では、どのようにすれば、生徒にしっかりと力がつくのか、生徒が楽しく被服製作を行えるのかを常に意識しながら、指導に当たった。また、教材研究の一環として、自分

自身も積極的に製作に取り組み、生徒とともに自分自身のスキルアップも図りながら1年間過ごした。検定は宿題や補習を計画的に組み、それに必死に生徒がついてきてくれたおかげで、全員合格することができ、ほっとした。

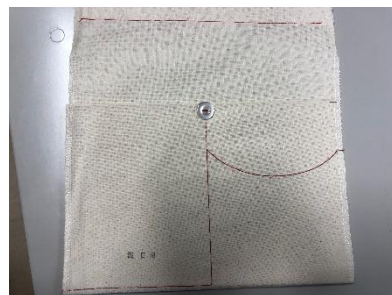
《4級 基礎縫い》



【手縫い練習1回目】



【手縫い本番】



【ミシン縫い本番】

《3級 ハーフパンツ》



【布の印つけの様子】



【練習の様子】



【本番の様子】

(2) 保育技術検定

保育者としての基礎的な技術を習得するための検定であり、「音楽リズム表現」「家庭看護」「造形表現」「言語表現」の4つの種目に分けられる。それぞれ4～1級まであり、4種目全てに合格すると初めて、級合格がもらえるというものである。家政科1・2年生を対象に全種目4・3級の指導をおこなった。自分自身も今まで指導したことのない分野なので、指導書を読み込み、DVDを見て、十分に予習をしてから指導に当たった。



【家庭看護】



【造形表現3級】



【造形表現4級】

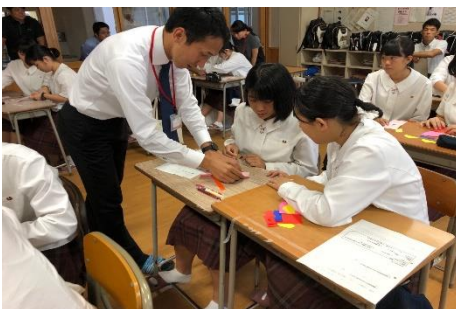
5 研究授業

全3回の研究授業をおこなった。どの授業も、納得のいく授業とはいかなかったが、生徒に助けられた授業だった。本当の意味で、生徒の深い学びになったとは自信を持って言えないが、生徒が楽しそうに授業を受けてくれて、積極的に参加してくれていたことが素直に嬉しかった。常によりよい授業を目指し、この先の長い教員人生を送っていきたいと思う。

- (1) 【第1回】 2019年6月12日(水) 2限 1年5組 家庭総合
ア 指導内容 第1編 人とかかわって生きる 第1章 自分らしい生き方と家族
私たちの生活を支える労働と生活時間
イ 目標：家族のために自分ができることはなにか考える。
ウ 授業当日の様子



- (2) 【第2回】 2019年10月16日(水) 3限 1年5組 ファッション造形基礎
ア 指導内容 1編 衣服の構成 2節 立体構成衣服と平面構成衣服
平面構成衣服
イ 目標：立体構成と平面構成の違いを理解する。
ウ 授業当日の様子





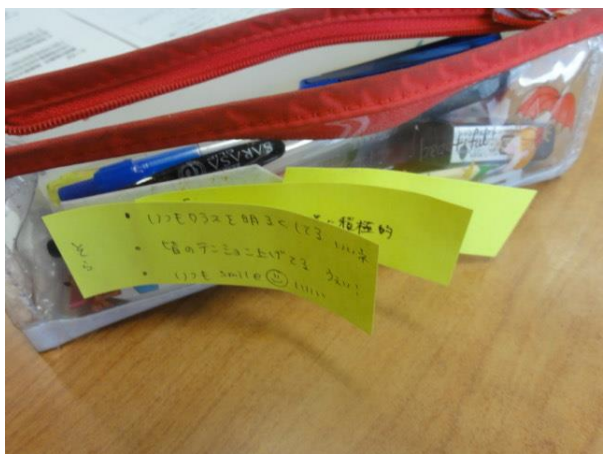
(3) 【第3回】 2019年11月21日(木) 1限 2年5

組 LHR

ア 指導内容 コミュニケーション能力を高める

イ 目標：上手なコミュニケーションの方法を身につけよう。

ウ 授業当日の様子



6 今後の課題

私は、この1年、目の前の行事や日々の指導をこなすことに必死で、本当にあっという間に過ぎてしまっていた。そこでこの機会に1年を振り返ってみると様々な課題が見つかった。(1)家庭科教師としての知識・技術不足 (2)教材研究にかける時間の不足(特に被服製作物) (3)生徒対応の未熟さ

上記の3点以外にも課題は山積みであるが、特にこの3点は、フレッシュ研修期間である3年で改善していかななくてはならないと感じた。生徒の深い学びにつながる授業ができ、授業で勝負できる教師になれるよう、この初任校である奄美高校で生徒とともに学んでいきたいと思う。

7 おわりに

まずは、指導教官をはじめ、フレッシュ研修に携わってくださった全ての先生方の、ご指導ご助言に感謝したい。お世話になった先生方に信頼され、関わってよかったとさせていただけるような教員になっていきたいと思う。

正式採用になれた大きな喜びと期待、そして少しの不安を胸に鹿児島から奄美に向かった日のことは、生涯忘れることはないだろう。小学3年生の頃から夢見た「学校の先生」になれたからには、一人でも多くの生徒の人生に、少しでも関わって、なにかしらの贈り物が届けられたらと思っている。